旧走水小学校（意見用紙21件）※メール含む

番号	年代	地域	走水小との関わり	分類	跡地についてのご意見・ご提案
1	60歳以上	走水町内	元在校生	商業・賑わい	災害後の復旧拠点、陸上養殖（海苔）
2	60歳以上	走水町内	元在校生	自然・教育・歴史	自然や歴史に触れる教育拠点（海洋・歴史教育）として活用
3	30～49歳以下	その他市内	特にない	防災・安全対策	津波避難台の設置
4	50～59歳以下	市　外	元在校生	商業・賑わい	宿泊施設（校舎利用）※食事は給食メニュー
5	60歳以上	走水町内	元在校生の家族等	地域・町内会	町内会の集会所、飲食場所、高齢者の居場所
6	50～59歳以下	その他市内	元在校生	地域・町内会	地域や卒業生の集会所
				商業・賑わい	観光スポット（給食が食べられる、走水神社とコラボ）
7	50～59歳以下	市　外	元在校生	商業・賑わい	道の駅、キャンプ場、海遊び
				自然・教育・歴史	ホタル観賞、走水の歴史展示
8	50～59歳以下	走水町内	元在校生	商業・賑わい	走水に来た人が立ち寄れる場所
				地域・町内会	走水小学校があったことを思い出せる場所
9	60歳以上	その他市内	その他	自然・教育・歴史	①歴史教育施設（対象：群馬県の小、中学生を対象） ②臨海学校（対象：親子連れ）
10	60歳以上	走水町内	元在校生	防災・安全対策	避難所の維持
				地域・町内会	選挙投票所の維持、町内会事務所の確保
11	50～59歳以下	走水町内	その他	商業・賑わい	【校舎】オフィス（有料or無料）
				住宅	【校庭】高齢者、障害者、児童養護など複合型グループホーム（全ライフステージ対応型）
				その他、懸念など	【道路】人の増加により、道路と駐車場・駐輪場の整備が必要 【その他】自然を活かした新しい住まい、子どもが集まる複合型福祉村の要素あり。走水の地から今後100年のモデル地区でPR
12	60歳以上	その他市内	その他	自然・教育・歴史	子どもたちのキャンプ施設
13	18歳以下	その他市内	特にない	商業・賑わい	キャンプ場、ディスカウントストア
14	60歳以上	市　外	その他	商業・賑わい	陸上養殖（アワビ、海苔）、校舎は「道の駅」型の売店
				防災・安全対策	体育館は平時はスポーツ利用など、緊急時は避難場所
15	50～59歳以下	市　外	元在校生	商業・賑わい	道の駅（宿泊施設を併設）
16	50～59歳以下	走水町内	元在校生	商業・賑わい	走水の歴史展示、カフェ、高齢者の居場所
17	50～59歳以下	走水町内	元在校生の家族等	商業・賑わい	稚魚や稚貝の養殖施設または研究施設、野菜の室内栽培施設

18	60歳以上	走水町内		自然・教育・歴史	走水の写真展示室、文化資料室の設置
				跡地活用以外	旗山崎公園の一部樹木の伐採（富士山眺望確保）
				跡地活用以外	スクールバスの導入（子育て世代の流入）
				跡地活用以外	バス停名称は「走水小学校」を維持
19	60歳以上	走水町内	元在校生	自然・教育・歴史	校舎を利用して、ここでしかできない教育を実施
20	60歳以上	走水町内	元在校生	自然・教育・歴史	子どもたちの憩いの場
21	60歳以上	走水町内	元在校生	自然・教育・歴史	漁業体験学習施設
				自然・教育・歴史	学童保育、不登校児童の居場所
				地域・町内会	コミセン分館（学習室、図書室、歴史資料館）

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

１　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18 歳以下 ・ 19～29 歳 ・ 30～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ 60 歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない・その他（　　）
２　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】	
メール送付しました。	

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

標題： 走水小学校跡地の利活用に関する地域説明会資料

横須賀市財務部 FM 推進課長殿

走水小学校跡地利活用について

＜旧走水小学校校舎の有用性＞

今後 30 年以内に 80%の発生確率が想定される南海トラフ地震及び首都圏直下型地震に対応するため、災害後の復興拠点として旧走水小学校を活用すべきです。

旧走水小学校の建物は、海抜５メートル以上の地点にあり、南海トラフ地震等で想定される 3 メートルの津波で市役所、警察署及び横須賀市立総合医療センター（旧上町病院）など主要な施設が水没する中で震災後にも耐震性を備えた建物として、地域住民の避難所や災害用備蓄品の貯蔵場所に適しています。横須賀市内は、大地震で甚大な被害を受け、3 ヶ月は立ち行かない状態が続くでしょう。

旧走水小学校の建物の資産価値は、体育館を含め、5 億円以上になると考えます。そして、建物は耐震補強を行っており、30 年は使用可能期間があると考えます。これを安易に取り壊すのは非常にもったいないことです。

走水は「走水神社の御神水」、「大泉時の湧水」、「滝の井戸」及び「走水 2 丁目井戸群」など環境省選定の平成の名水百選（平成 2 年）に選定されている横須賀市内でも有数の水源を有する地域です。横須賀市内の水道水は、遠く相模湖から水道管を引き込んでおり、南海トラフ等の大地震等が起これば、水道管の復旧には少なくとも 1 ヶ月以上はかかることが想定されます。走水は震災後の飲料水や入浴用水の水不足に対応できます。防衛大学校は有事に対応するため、走水水源地から直接水道管を引いています。災害時には走水の水は有効に活用できます。

横須賀市の人口は、早ければ 10 年で半分になるでしょう。日産の追浜工場は閉鎖されるなど市内には若者が働ける勤務先がありません。横須賀市には地域の活性化策がなく、近所のスーパーに行けば、老人ばかりであり、今後、若者の市外への人口流出が加速し、高齢化が急速に進んでいきます。

国が推進する建物の耐震化について言えば、建物を新築するだけで 4,000 万円（坪 100 万円×20 坪×2 階建）がかかりますが、老後資金 2,000 万円も用意できない者がいるのに、多くの者は資金的に困難です。現在住んでいる建物に耐震工事をしても、震災後ずっと住み続けることができないかもしれません。近隣の建物の火災の影響で我が家が消失してしまうかもしれないのです。

建物の老朽化が進み、多くの人々の建物は震災で破壊されます。走水は 3 メートルの津波で住民の 3 分の 1 は大変な打撃を受けることでしょう。特に、海抜 0 メートル地帯の伊勢町地区（走水 1 丁目地区）は悲惨な状況となると思われます。旧走水小学校の建物を地域住民が震災後 1 ヶ月以上生活できる安全な避難場所として確保することは重要な施策です。

＜陸上養殖への転換＞

走水の産業といえば、つり船業とのり養殖業で海との関わりが深い地域です。

しかし、地球温暖化により、房総沖に珊瑚礁群が現れるなど海の環境も急激に変化してきています。今後、東京湾は今後磯焼けなどのリスクにさらされることになります。以前は、走水の海岸でもあさりがたくさん採れましたが、今では全く採れないそうです。

東京湾の水温が上昇し、冬でも黒鯛が活発に活動するため、養殖しているのりが食べられてしまい、のりの生産量が減ってしまう事態になっているということです。

そこで、「育てる漁業」への転換を図る必要があります。旧走水小学校校舎が東京湾に面していることから、海水を直接取り込むことが可能であり、水産資源の陸上養殖の場として活用することを提言します。

マルコメ、三島食品及び（同）シーベジタブルなどの企業が、のりの陸上養殖に成功しているということです。これらの企業に旧走水小学校校舎の建物を無償または低額の賃料により誘致し、代わりに建物の管理を依頼し、平常時は地域住民が体育館や校庭の利用できるように活用すべきと考えます。

のりの陸上養殖のノウハウは地元の漁業関係者に還元し、最終的に地元が潤えば良いと思います。

走水小学校校舎の記憶

私が授業を受けた小学校は木造の建物でした。卒業後、小学校の PTA の役員をした頃に星の観察会がありました。招かれた先生方からは、首都圏でこれほどきれいに星の観察ができるところは他にはないとのことでした。屋上に上がって、走水港・伊勢町の海岸から東京湾越しに富士山を臨んだ景色はとても美しいものでした。

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

1　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18歳以下 ・ 19～29歳 ・ 30～49歳 ・ 50～59歳 ・ (60歳以上)
お住まい	(走水町内) ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	(元在校生) ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない ・ その他（　　）

2　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

「海洋都市おすがに ふさわしい人材育成を行うため、海、山などの豊かな自然や歴史遺産に実際に触れる現地教育の拠点として活用する。

1. 運営主体　横須賀市　（授業の一環として実施）
2. 対象　市内の小中学生
3. 内容　①海洋教育
   - ○海に親しむ（主に走水小学校がおこなっていたこと）
     海の生物観察、海浜水泳等
   - ○漁業体験
     海草の養殖収穫　魚の観察
   - ○海洋資源の活用、海洋汚染問題など今日的課題教育

   ②歴史教育
   - ○砲台、地層等の現地観察

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

1　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18 歳以下 ・ 19～29 歳 ・ 30～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ 60 歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない ・ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

2　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

津波が来た時の高台を作る

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

1　ご自身の当てはまるものに〇をしてください	
年　代	18 歳以下 ・ 19～29 歳 ・ 30～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ 60 歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない・その他（　　）
2　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】	
元在校生、県外/大阪/石川県に住む　同級生からの意見	
校舎を活かした宿泊施設	
宿泊の食事は給食メニュー	

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

1　ご自身の当てはまるものに○をしてください。	
年　代	18歳以下 ・ 19～29歳 ・ 30～49歳 ・ 50～59歳 ・ 60歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない ・ その他（　　）
2　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】	
町内で使える場所 食事ができる場所 井寄りが集まれる場所	

ご記入ありがとうございました。

<問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454>

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

1　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18 歳以下 ・ 19～29 歳 ・ 30～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ 60 歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない・その他（　　）
2　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】	
3月に説明会を行い跡地のことを同級生で話しました。 市内に住む　卒業生　からの意見 ・学校も地域や卒業生達が集まれる施設 ・走水神社のパワースポット人気にうらぼして 151年の歴史と二宮金次郎の銅像もそのままで 懐かしい給食が食べられ・波の音も聴ける走水小 学校として観光スポットになるといい 勝がうらの　二宮金次郎は珍しいらしい	

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

１　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18歳以下 ・ 19～29歳 ・ 30～49歳 ・ 50～59歳 ・ 60歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない・その他（　　）

２　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

道の駅

走水漁港で水揚げされた魚や海苔

パワースポット走水神社も紹介

校庭にテントを張ってキャンプ

道の駅で買った食材を使ってバーベQ

海で遊んで思いでづくり

ホタルをずっと見れるように

走水の歴史展示

3月に開校イベントを行い、その後にもうた

元在校生　同級生　の意見びろ

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

１　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18 歳以下 ・ 19～29 歳 ・ 30～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ 60 歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない・その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

２　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

[redacted]の　走水に来た人が立ち寄れる場所

走水小学校のあったことを思いだせるような部屋

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

１　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18 歳以下 ・ 19～29 歳 ・ 30～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ (60 歳以上)
お住まい	走水町内 ・ (その他市内) ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない・その他（横須賀開国史研究会にて学ぶ）現在も会員中です。

２　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

☆前提として横須賀市全体の中での一校として考えていく。

・横須賀市の歴史を最大限生かす。・走水小学校の立地条件を活用し学校的機能も生かす。

☆現状の認識

・江戸時代から明治にかけての横須賀の関わり、ペリー来航(浦賀沖)上陸地(久里浜)

・横須賀製鉄所(造船所)の建設と富岡製糸所(群馬県)との関わり(小栗上野介)

・群馬県は海に遠く接する概念が少ない。

・小学校(高学年)から中学校にて歴史を学ぶ中での認識も高まる。

・2027年NHK大河ドラマにて放送予定

☆具体的施策として

1)年間を通しての受け入れ施設としての機能を高める(体験教育)群馬県の小、中学生対象に

2)四季を通して隣接する海等を利用し臨海学校の設定(親子連れにて)

☆私自身も小、中学校は群馬にて育ち、就職、居住も子供、孫も現在横須賀市にお世話になっています。

ご記入ありがとうございました。

<問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454>

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

１　ご自身の当てはまるものに〇をしてください	
年　代	18 歳以下 ・ 19～29 歳 ・ 30～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ 60 歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない ・ その他（　　）
２　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】	

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

平素より市政におかれましてはご尽力いただき感謝もうしあげます。過日、5月24日には元走水小学校において説明会の開催をしていただき、住民説明会では、丁寧な説明をしていただきありがとうございました。

走水小学校の跡地活用に向けた検討体制はよく理解できました。地域の進め方についても理解できました。跡地活用の協議会が１２名によって、既に令和７年２月２７日に第１回が開催されていることもわかりました。

２月２７日までに、走水町内の地域では、これまで全体会を開くなど住民の意見を聞く場を設けていません。

また、残念ながら協議会に意見反映するための地域協議会の代表として参加している方々からも、意見の聴取や意見反映もしていただいていません。さらに、第一回協議会後の報告会もありません。

町内会側の地域の意見収集、とりまとめの不備は町内会側にあると思います。また、町内に不満を述べる前に走水住民の一人として、これまで跡地利用について町内への積極的なかかわり方にも責任あると思っています

走水小学校跡地の利活用に関する意見、提案をさせていただきます。

これまで、走水小学校が担っていた投票所につきましては、高齢者も多いことから、これまで通りの方法での体育館での使用をお願いいたします。

災害時における震災時避難所・風水害時避難所につきましては、今後も台風の大型化、温暖化による暴風雨の

強大化、南海トラフ等の大地震の逼迫による心配の増大、特に走水地域は土砂災害警戒区域等（土石流）に３か所指定されています。また土地の７割が警戒区域内にあります。地すべり、急傾斜地の崩壊の危険度も高いです。地震では、地形上、必ず「陸の孤島化」になることが十分予想され、危機感を持っています。

走水地域の現状から、震災時避難所・風水害時避難所の非常時の時は引き続き使用させて頂けますように強くお願いいたします。

またできましたら、震災時避難所にテントや簡易ベット、簡易トイレの増数、備蓄食料や飲料水の拡充等地域防災力の強化のご支援もいただきたいと思います。

学校開放については、スポ―ツ団体代表として過去に活用した経験があり、そのことから、学校から地域に運営を移行し、連合町内会会長・体育振興会会長・体育指導委員・各スポーツ団体代表などで組織し、年一回以上の会合を持ち運営（使用場所・日程の計画・情報連絡、体育館・トイレ等の管理、機材の点検管理、消耗品の保管・鍵の管理等）必要時に、教育委員会あるいはスポーツ課に連絡するといった方法が良いかと思います。さらに、ゲートボール同好会の使用や、健民運動会の使用、地域の避難訓練等にも利用させていただくと町も助かるのではないでしょうか。

経験から、教室一つ借用できると助かると思います。連合町内会室として、各町内としては町内会館会を持っていますが、連合町内会として場所がいままでありませ

んでした。

そのため、会議には走水神社の社務所（昔からしていることでやむをえないことですが、町内会費を使うなどもあり政教分離から望ましくないと個人的には思っていますが…町の慣習でしてきているので問題にはしたくはありません。）を関係資材を連合町内会会長宅に管理したり、多量の印刷物が必要な時は、紙を持参してPTA室で印刷するなどをしていましたので使用させていただけるのなら助かるのではないでしょうか。活用させていただけるとありがたいです。

特に個人的にお願いしたいことがあります。たまたま、馬堀小との統合が決まり、令和７年３月２９日に町内会主催の「ありがとう走水小学校の」のイベントよる催しがありました。走水小への感謝の思いが強く、創立以来の、現在に至るまでの１５１年の学校の歴史や、原始時代から現在の走水の町についての絵や写真や膨大な資料の体育館や教室、廊下に展示させていただきました。多くの方々から、改めて走水の町や学校の良さがわかった、資料を何とか残してくださいとの声をたくさんの皆様からいただきました。持っている資料の一部しか展示しなかったので、展示しなかった多くの資料も現在自宅に保管してあります。

集めた、これまでの郷土資料になる多くの書籍や関係資料も将来の町の人々に活用していただけるものと自負しています。

これらを残していかないと、地域の歴史的遺産が失っ

ていくからです。私たちは将来の人のためにも残し歴史を繋げていく使命があるのです。

走水の地域は、東京湾口に位置しているので、多くの歴史的なドラマがあります。古代には、小原台という海岸段丘が存在し、走水の豊かな湧水を求めて、古代人が生活し始めました。

大和朝廷成立時代のことですが、多くの方々が信仰するヤマトタケルやオトタチバナヒメの伝説で有名な走水神社があります。当時の古東海道は街道が整備されていなかったために、蝦夷地に行くのには上総に行くのには走水を通るしかありませんでした。そのため、大津より安房口神社を通り小原台を通り走水に行くルートしかなかったのです。走水は上総の富津に上陸すれば最短距離になるからで、良く見える地域です。当時の漁民はこの海を漁師舟を使い広範囲に漁をして暮らしていたのです。しかし、東京湾口であるがゆえに複雑な地形となっていて海水の流れも速く大変でした。そのため、多くの漁民が命を落としていたのです。地域の住民は「仏崎」と呼んで恐れていたのです。

その海をヤマトタケルら百人以上の一行が多くの漁船を利用して渡ろうとしたのです。走水の海は、内湾とが外湾の境界線上にあり、走水は内湾の入口に位置し、その潮流は表層で湾外へ流出し、深層では湾内へ流入する傾向が１年中あるのです。潮の干満によっても方向が変わり、上げ潮では、湾口付近は湾奥に向かう北西流となり、下げ潮では、湾奥から湾口へと約時速４kmとなります。この流速は、季節風の影響を受け、海水の流れはさ

らに加速されているのです。湾口の潮流は、房総側に偏り、この先端流を漁民は「張り出し」と呼んでいました続いて来る本流を「込み上げ」と呼んでいます。さらに、久里浜沖から観音崎の沖に海面から水面に盛り上がってくる小塊（涌昇流）があり、浦賀水道の深い谷底を通て来た黒潮の分派になります。この複雑さは、魚の釣れ具合に大きく影響していたので地元の漁師は代々そのことを伝え継いできていました。ですから、走水の海は潮の流れが非常に速く、また複雑なのです。

景行４０（１１０）年東征で訪れたヤマトタケルの一行に、この海の恐ろしさを地元の漁師は切実と訴えました。そこで、地元で走水の海のことを良く知る腕利きの漁師、宇野徳三郎氏（当時は南町に住んでいたが現在は南谷戸在住）の先祖と新明氏（当時は伊勢山崎に住んでいて屋号はいそのはなであるが現在は上町在住）の二人を水先案内人にしてこの危険な海を渡ることが出来たのです。オトタチバナヒメの父は穂積氏忍山宿禰（相模国二宮の国造・陰陽師）から、全ての祭祀式を執り行っていました。（そのため入水伝説化されたものと思われます）村人は、それまで、見え隠れ岩と呼んでいましたが、オトタチバナヒメが船出の儀式を行った島なので「御座島」と呼ぶようになりましたが、現在は「寺島」「宮島」と呼び名が変わってきています。五日間村人が仮の御所を建てたり、海の幸の料理を差し上げたり、船や水主の用意し、別れを惜しんだので、「尊はわれと思え」と村民とお別れするときに冠などの持ち物をくださしました。これを尊と思い、走水神社を建てたのです。あの仏崎は、天平１３（７３８）年多くの社会事業を行

い行基菩薩と称された「行基」がこの地を訪れた折「何か困っていることがないか」と聞かれ、走水の海の怖さを訴えたことから、災いを封じるために観音像を造立してくださり、鵜羽山権現（のちに観音寺の舩守観音）を創建してくださいました。これが「大蛇退治」の伝説となっています。奈良時代のこのころ、走水郷は朝廷からきた山形女王でした。

平安時代・元暦１（１１８４）の冬になって名馬美女鹿毛は上総の嶺岡の洞窟から村人に追われ、逃げて走水の松崎に上陸したのち伊勢浦の湧水で喉をうるをし、小原台に駆け上がりました。そして走水の村民が作る豊かな作物を食べながら小原台に定住しました。困った村民は仕方なく捕えようとしますが、逃げ足が速くとり逃がしてしました。地の利を活かし、捕まえることが出来たのが馬堀の地だったのです。そのため、馬堀の名前の由来となり、更に水の湧き出る地に馬頭観音を祀ったのです。馬は、馬堀の村人から、三浦義澄へ、さらに三浦大助（名は荒潮）へ、そして源頼朝（名は生ずき）に献上されました。寿永３（１１８４）には、源平合戦の時、宇治川の合戦で頼朝から与えられた生ずきを使って佐々木高綱が先陣したことは有名です。ですから馬堀だけでなく走水の馬でもあるのです。

治承４（１１８０）年、源頼朝は石橋山合戦で敗れ、船で安房へ敗走、三浦義澄・多々良四郎義春（鴨居に館があり、地名多々良、むかしから小松一族がたたら、鉄を生産していたからで、史郎は三浦大助の４男であることから）らが、安房で頼朝を迎えました。ここから再起

が出来たのは、走水の村民と安房の村民とが強い交流があり、しかも三浦一族も地縁や一部所領があったからです。

戦国時代になり、所領争いで房総の里見氏と北条氏の抗争があり、７０年も続きました。里見水軍と北条水軍は走水沖で激しい戦いを繰り広げました。走水の海賊は（漁師）水主として戦います。名主「飯島惣左衛門」は北条方浦賀城水軍（浦賀では安房の方がよく見えない）の命令を受け、昼夜里見氏側の周辺の見張り警戒をおこたりませんでした。しかし、夜間に襲われ、名主の家や民家、漁船を全て燃やされるなど被害を受けましたが、守り抜きました。

天正１８（１５９０）年６月２４日、浦賀城が落城し７月５日に小田原城が落城し豊臣秀吉が北条氏を滅ぼします。秀吉は、三浦の地を徳川家康に国替えを命じます。家康は、船奉行に命じ、江戸の守りを三崎と走水に水軍基地を置き警備します。その後、船奉行の向井一族などに、海の関所でもある「走水番所」を置きました、走水は下り船を取り締まりました。

向井一族や７人ほどの旗本奉行たちが代々勤め、元禄４（１６８６）年１１月になり、番所が回船の増加等の状況変化により、６０年間を経た走水番所をやめて下田に移します。江戸幕府は、キリスト教などの禁止のため寛永１６（１６３９）年鎖国令を出します。その後、外国船がたびたび来航するようになりなりましたので、幕府は台場を作り江戸の守りを強化しました。しかし、嘉

永６（１８５３）年、浦賀沖に東インド艦隊の軍艦４隻が来航し、１０日間、幕府とペリーは交渉をすることになります。来航の目的は開港と水路の測量でした。交渉の結果、９日に国書の受け取りの儀式を久里浜の地で行ったのです。久里浜は開国の地となり記念碑が建てられました。

しかし、アメリカ側の見方からすると、国書を渡すのは勿論ですが、長崎でもよかったのです。しかし、海図の作成はより大切な目的でした。来航する前に入手した海図は全て浦賀まででした。そこで今後のこともあり、浦賀から江戸までの航海図がどうしても必要だったのです。

ペリーはそのための作戦を実行します。信頼できる部下、ベント大尉に命じ、５日の早朝、海兵隊を乗せた観測隊のボートを秘密裏に旗山崎（御所が崎）に上陸させたのです。上陸してすぐに台場を見分したのです。砲は旧式であること。頂上にある大砲はつくりものであることを瞬時に見たのです。すぐに川越藩の藩士は対応し、激怒して槍で突進してきます。危険を感じたベント大尉たちは、ボートに避難し、軍艦ミシシッピーに助けを求めます。知らせを受けた幕府側の警備船は３０数隻がかけつけ観測隊のボートを取り囲んでいましたが、軍艦が来たので警備船は退避しました。早馬で何度も奉行に発砲の承諾を得ようとしましたが、「穏便に」のみなので歯ぎしりしていました。

この時さまざまな事情があり、幕府もペリーも双方が

戦争だけは避けたかったのです。

ベント大尉の報告により、大砲をむけられても、水深の測量を羽田沖まで強引にしたのです。これは、双方にとって大事件でした。ペリーは、旗山崎を世紀の決戦の場、ポイント・ルビコンと命名しました。かつてローマ帝国をつくったシーザ将軍が「さいはなげられた」のことば発し、北イタリアのルビコン川を渡ったことにちなんでつけたのです。ですから、２１４年間の鎖国が解かれた瞬間は、走水の旗山崎の地だったのです。

日本では、あまり知られていませんが、外国人が鎖国を破って最初に上陸した場所は走水の旗山崎だったのです。小さな記念碑でも建てても良いかもしれません。

開国して江戸末期になりになり、日本は近代国家へと舵をとり始めます。通商をするのには、船の修理が必要です。幕府はフランスに援助をお願いし、製鉄所を造ります。水不足に悩まされた首領のヴェルニーは走水の湧水に着目し、唯一の走水の水田を埋め立て水道を引くことにしました。その後、幕府はすぐ倒れ明治時代に入り、造船所に変わります。走水の水は、近代工業を支えたのです。

走水の水道と言えば、国登録有形文化財があります。走水水源地煉瓦造貯水池（明治３５年）と鉄筋コンクリート造貯水池（明治４１年）です。

しかし事実は、元軍港水道覚栄寺裏山の貯水池（明治２８年）や元軍港水道導水つい道が現存しているのです。また、覚栄寺裏山水道貯水池（明治４１年６月）が

造られています。これらの貯水池は関東大震災の時、お寺の建物や旅籠・滝の茶屋の建物と同様に壊されてしまいました。流水は、仲之町を下り海に流れ出ました。その時に数人が水死していますが、要塞地帯法のためかわかりませんが誰も知らされていません。また市にも、震災誌にも全く記録がありません。わかるのは、覚栄寺にある慰霊碑のみです。

走水の湧水は貴重な市の震災対策を支える重要な水として今も活用されています。また、走水の農業地として重要な小原台地は、戦後の農地改革として住民い返される予定でしたが、大切な国防のための防衛大学が開校されました。残された一部の山も、観光や自然保護のために県立公園や市民の大切な横須賀美術館になっています

走水は要約、戦後平和になりましたが、江戸や東京の東京湾口として重要地であるがゆえ、朝鮮戦争や米ソ冷戦時には、昭和３０年２月９日に撤去されるまで対潜水艦防御網が敷設されています。白い浮き球の直径は２ｍぐらいあり、ワイヤーの直径は４ｃｍもあり、開閉式の防潜網で掃海艇が開閉を行っていたそうです。そのため漁業が思うようにできないこともありました。

絶壁の山と海に囲まれてた離島の町、江戸や東京を守るために適した地勢は一方で、自然・文化・歴史が豊かでもあるのです。ヤマトタケルの神話、河童伝説などのたくさんの民話、今もに残る屋号、特色ある方言、全てが消えつつある時代ですが、今なおわずかに残しています。なんとか次の世代に繋げたい、そして残しておきた

いと思うのは私だけでしょうか。

ほかにも、走水海岸での５０年間集めた、貝殻などもあります。海の環境の変化を実物を見て学べます。子どもたちが学習活動に利用できる資料も多くあります。

これらの資料は、子どもたちの学習に役立つものになったり、地域住民が郷土を知る資料にもなります。また、観光客が訪れて町のことを知ってもらう資料にも活用することができます。空き教室を（ミニ自然博物館・ミニ文化資料室・ミニ歴史資料室）として、活用させていただけないでしょうか。

ご説明いただいた貴課の資料には、地域が置かれた状況や課題を踏まえ、将来により、地域の実領と活力の維持向上につなげることを目的とするとあります。また、民間活用等に関する意見にも「走水の自然環境は財産であり、オリジナリティであると思うので、教育と漁業の連携をテーマに体験学習ができる施設とするのがよい」「コミセン分館として学習室や図書室、歴史資料館などがよい」とありがたい意見がすでに出ています。意見を尊重して、どう活用することが走水の住民や町の将来のためになるのか、議論をしていただけるとありがたいです。

走水小学校が利用してきた投票所ですが、要望がなかったら馬堀小学校になるのでしょうか。高齢者が今後ますます増加するのに…。わざわざ別の町内会館などの場所に移す必然性があるのでしょうか。私にはによくわかりません。

避難所は、要望がなければなくすこともありだとお考えでしょうか。地震・風水害、様々な災害が現実に起きていて、市は災害対策予算を増額し、新規拡充事業として約６億円を計上しています。備蓄拡充や避難所の環境整備が期待される中、選択肢として走水小の震災時避難所、風水害時避難所は要望がないといってなくすことできるのでしょうか。ほかの場所を考えるなど…現状から思いつくようなことがありえるのでしょうか…。

命に係わる大切なことは、行政と市民が、理解し合い話し合えばすぐに合意形成できるものと確信していたのですが…。

その他の活用については、価値観が違い、意見に相違があります。個人の願いより、みんなの願いを大切にし、十分時間をかけて話し合いをし、良い方法を考えながら、合意形成していくことが何より必要だと思いますが、走水小学校の場所からなくすことなど私には到底理解できません。

私物の郷土の自然・歴史・文化関係の一部を紹介します。

・古事記・日本書紀関係　…西東社等

・三浦半島の古墳、歴史遺産、気候、植物等多数…横須賀人文・自然博物館

・市史研究横須賀関係多数…横須賀市役所

・開国史研究関係…横須賀市開国研究会編

・植物関係…横須賀植物会

・横須賀市史関係…横須賀市役所

・横須賀の文化財関係…横須賀市教育委員会

・走水小学校の歴史関係多数…走水小学校その他

・神話の海…毛塚五郎　東京湾司令部参謀部勤務

関東財務局首席監察官　小学校の同級生の父

・浦賀志録上下２巻…加茂元善　走水地区警察官

・古老の話関係資料多数

・僕の絵日記・走水小…卒業生　小川ゆたか

・ペりー提督の日本開国と走水…モリソンの訳本、友人

・弟橘姫御事績…宇野千代　古書

・観音崎物語…田辺　悟　元横須賀博物館館長

他多数の関係書籍。

○最近の情報より

（１）国・県

・自民党・政府に提出、地方創成に関する提言

地方創成に関わる人材確保のため「ふるさと住民登録」の制度創設や「地産外商」の全国展開

（２）文部科学省…次期学習指導要領・２０３０年から小学校で実施。「情報活用」総合学習で、探

究的な学習を行うことの時間確保等が盛り込まれる予定。

（３）文部科学省・厚生省・その他の省…　廃校になった公立校の施設の調査

３割近く再利用されず。施設の設置には公費が投じられているので、利用されないのはもったいない様々ニーズに対応し、有効使用することが大切と担当官は述べている。

（４）廃校活用の手続き　積極的に廃校活用の検討を

費用については、国の補助金の制度もある。

（５）全校廃校活用例集で全国の事例が紹介されている。

（６）「海とみらい学校」２０２３年１月より、NTT東日本の地域活動循環社会の共創のための未来研究所の活動にK食堂のオナーの「Ｈ　Ｋさん」がすばらしい活動をしている。今年度になってわたしもその活動に参加している。

（７）走水の写真家、「Ｙ　Ｗさんご夫妻」走水の文化（お祭など）、自然（風景、鳥、植物等）、歴史（水源地などの近代遺産）などすばらしい貴重な

貴重な写真資料を多数お持ちです。走水には多くの人材が豊富です。この町の人々の協力をいただけたらと思っています。

送信者	[redacted]
受信者	fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp
受信日	2025/05/24 17:34:17
送信日	2025/05/24 17:34:15
件名	**走水小学校跡地の利活用に関する意見・提案書**

横須賀市財務部FM推進課　御中

いつもお世話になっております。
どうしても福祉的視点が色濃く出てしまうのですが、
自分なりに、皆さんの意見を踏まえて
取り込んだ内容をまとめてみました。

一つの意見として
検討していただければ幸いです。

宜しくお願い致します。

[redacted]

ファイル添付	走水小学校跡地の利活用に関する提案書.docx

走水小学校の教室を以下のところに賃料（可能な団体には）という形で利用してもらう。

1．走水町内会事務所
2．子どもの居場所（不登校の子どもさん達が集まって、自然豊かなこの場所で心を癒し、魂の回復を目指す）
3．ノリの養殖（業者であれば賃料は当然可能かと）
4．高齢者の地域コミュニティセンター
5．校外学習センター（宿泊できるように改造して、青少年育成センターのようなところにして、横須賀市内だけでなく、県下や東京でコンクリートに囲まれているような学校の学生達に来てもらう。寝袋で寝てもらい、翌日は海の体験学習や横須賀市の美術館、灯台、観音崎公園ツアーをボランティアにしていただく）
6．残りの教室の３つくらいは企業に貸し出す（賃料を取って、管理費に回す）
7．４階は、防災拠点として、発電機を備えて地域の約１００人近くの避難場所となるように。そして最低５日間位自力で生活できるようなところとする。（景色がとても良いので、教室レストランとして一番上の階に作る・災害時は休止）
8．市の出張窓口（月・水・金の１０時から１５時までとかの限定）
9．高齢者相談事業所やヘルパー事業所（８．９については教員室でも十分可能では）

グランドの第１種中高層地区について

高齢者と障害者、児童養護の方々の複合型グループホーム（全ライフステージ対応型）

特徴ある施設

① 植物やホタル、公園などの清掃を入居者と職員と地域の方々で行ってもらって、地域の方々も気楽に教室に来れる所にする。少し畑や海の養殖なども手伝ってもらうと良い。
② ３食の食事は、走水小学校の厨房設備を利用して、グループホームの方々だけでなく、走水小学校に入っている業者や学習センターのスタッフ、市や業者の方々にも注文を取ってお弁当を作ってもらう。食事を作るのは、地域の方々で雇用の創出もできるとよい。（多くの人に食べてもらえるようにする）
③ 子ども達の声が聞こえる元気なところ

グランドについては、少し狭くなってしまうかもしれないが、ソフトボールや野球、体育館を使ってのクラブ活動（できればセミプロぐらいの団体が来るとなおよい）を週末・夜などやってくれるところがあるので、その子たちの声をきいているだけでも、グループホーム入居者や地域の方、学校の教室に入っている団体なども元気がもらえる。

道路について

これだけのスタッフと人が集まるのであれば、道路と駐車場及び駐輪場位の整備は必要

２枚目に続く

最後に

　走水の自然をいかした新しいすまいの在り方、また子ども達も集まる複合型の福祉村ができるのではないでしょうか？

　今後の１００年を走水の地からモデル地区としてアピール

↓

　国や県にも要望書を提出して予算できるものは予算化

↓

　日本全国から自治体関係者が集まり、過疎化の各市町村がその土地にあった福祉村を作っていく。

そして日本が元気になっていくのをこの場所から見届けていくことができたら幸せですね。
これを、地域再生事業の一環として企業とコラボする。
ＳＭＳをはじめ口コミから初めて、神奈川テレビや神奈川新聞にも取り上げてもらい、小泉農林水産大臣にもご協力していただく。

勿論地域の方々の理解なくして実行はないと思います。
いかがでしょうか？
文字ばかりで失礼いたしました。

送信者	[redacted]
受信者	fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp
受信日	2025/05/27 13:04:23
送信日	2025/05/27 13:04:18
件名	**走水小学校跡地の利活用に関する提案**

年代；６０歳以上　　住まい；その他の地域　　走水小との関わり；　元　職員

走水小は、教育環境として実に素晴らしい所です。子ども達の教育の未来に是非活用していただきたい。

もし、子ども達のキャンプ施設として利用されたら、小鳥の声に目覚め、海で活動し、散歩は観音崎公園にもほどよい距離、また美術館での鑑賞もできる。

市内にこんなによい教育環境があるのに、子ども達の教育に貢献しないということは、税金の無駄使いです。学校が荒れないうちに早期の活用をのぞみます。

パソコンの操作が得意ではないので、無事に届くことを願っています。

ファイル添付	走水小の残された環境を大切に維持し.docx

走水小の残された環境を大切に維持し、子ども達の教育に生かしていただきたい。

地元漁協の協力により、「海の幸集会（磯の生物とのふれあい・アサリ取り）」「ワカメの種付けから収穫」、また、「焼き芋集会」「全校海水浴」「ほたるの里作り」「田んぼ作り」「冬の夜の天体観測」等々、日常の学校生活の中に自然とのふれあいが位置付けられていました。この環境を生かして、ぜひ子ども達の教育の場として活用していただきたい。机に座って学習するより、はるかに大きな教育成果が上げられます。

近年、少子化が進み、家庭でも学校でも大人の目が行き届き安心・安全な環境の元に育てられているはずの子ども達が、なぜ心のひずみを感じくずれていくのか、不登校や非行の現実は、自然の中での心の癒やしとともに、知恵の気づきを学ばせることで解消できると思います。

走水小には、シャワールームがあり、校内キャンプもできます。わずか２泊くらいの他地域へのキャンプ体験に市の多くの助成金をつかわなくても、ここでやればよい。かって北海道の子供会が集団で夏休みキャンプの宿泊施設として利用していた事もあります。お別れ会行事として地域の方が制作してくださった展示物もそのまま市内の子ども達にも見てもらいたい。

フリースクールや学校生活になじめない子ども達の教育の場としての活用を切にのぞみます。子供会が消滅して地域での縦つながりも出来なくなっています。市主催の子供会行事などもここで開催してみてはいかがでしょうか。

送信者	[redacted]
受信者	fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp
受信日	2025/05/28 13:29:21
送信日	2025/05/28 13:29:15
件名	**走水小学校の活用について**

地域のニュースや横須賀市の情報から、吸収合併になった小学校の今後の活用についての資料拝見しました。

ご意見書の添付しますのでご確認のほどよろしくお願いいたします。

[redacted]

ファイル添付	走水小学校跡地活用.docx

送付先アドレス：fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp

送信期限：６月１日（日）まで

１　ご自身の当てはまるものをご選択ください（当てはまるものを■としてください）	
年　代	■18 歳以下　□19～29 歳　□30～49 歳　□50～59 歳　□60 歳以上
お住まい	□走水町内　■その他市内　□市　外
走水小との関わり（複数回答可）	□元在校生　□元在校生の家族等　□スポーツや文化活動等で利用 □選挙投票所で利用　■特になし　□その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

２　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

宿泊施設は土地用途的に付加との記載でしたが、キャンプ場やデイキャンプとしての利用は可能であれば活用できると思います。

実際、千葉県や小田原市などに廃校となった場所をキャンプ場として運営している例もあります。

https://campiece.com/

https://www.tacoglamp.com/

上記いずれも既存の施設や自然環境は活かしたまま県内外から多くの集客が行えております。観音崎で一時やっていたようなグランピングリゾートではなくコストパフォーマンスに優れた内容と周辺立地（観音崎、海、走水神社）など観光資源も豊富であり海を感じながら強風が防げる環境は非常に少ないです。

雇用の促進や経済効果の期待もできると思います。

ご一考いただければ幸いです。

近しい考えかたで道の駅として活用しているところもありますので参考までにリンク貼ります。

https://www.michi-no-eki.jp/stations/views/19827

妻はメガドンキホーテになって欲しいと言ってました。

ご記入有難うございました。

送信者	[redacted]
受信者	fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp
受信日	2025/05/30 19:02:22
送信日	2025/05/30 19:02:06
件名	**走水小学校跡地の利活用に関するご意見・ご提案に関する意見**

ご担当者様

先般の表記の件に関して説明会当日はコメントをする時間も立場もなかったので、参考までにご報告させて頂きます。
何かの参考になれば幸いです。

1. 年代：60歳以上
住まい：市外
走水小との関わり：跡地の活用を考えている友人からの依頼で説明会に参加

2. 利活用のイメージ
最初に私は[redacted]で市の土地をお借りしてアワビの陸上養殖（稚貝と成貝の両方）をしております。
近くの第一養殖場ではアワビ養殖排水を利用してスジ青のりの養殖もしています。この会社の社長をしており、友人から依頼があり、
説明会当日参加したものです。その経験からすると小学校跡地の活用方法の1案として提案いたします。

説明会当日どなたか市民の方の質問にアワビと海苔の陸上養殖をしたらどうかとの意見がありました。この走水小学校跡地の利活用としては良い提案と思いました。
①アワビ養殖の場合、閉鎖循環式よりもかけ流し方式の方がはるかに良い養殖方法です。かけ流しの場合の最重要な条件はできるだけ海の近くから取水できるかです。この点で、校庭横から取水できるというのは最大のメリットになる。（これ程条件の良い場所は日本にないのでは！）
②アワビは絶滅危惧種のため、アワビ養殖に市も関わっているというのは市にとってもメリットがある。
③我々同様、養殖排水を捨てずに一部海苔水槽に入れてノリの養殖をする（アクアポニックスと言う）のは今話題のSDG'sの流れにあり、マスコミの関心事にもなり、市の話題作りにもなる。
④海苔は特殊な方法で養殖することになり、種を浮遊させて水槽のなかで海苔を大きく成長、しかも短期間に収穫できるので、利益性が高い。年に10回位収穫できる。
⑤漁港が隣の場所にあり、漁業組合も水産物が取れなくなってきており運営が厳しくなっている。彼らを巻き込んで上記養殖をするのがベスト。
⑥養殖したアワビ、アワビの加工品、海苔、海苔を使った加工品（多くはOEM生産で他社に委託生産）を中心に、地元の農水産物を扱った道の駅型買店を作る。漁協にも協力を得る。

これ以外の提案
①体育館は残す。バスケ、バレ―等の運動用、音楽会などの催しに活用。緊急時の避難場所にも使用できる。
②校舎は上記の⑥に活用したいが、大半は養殖スペースに転用。
＊運動場は野球やサッカー少年には悪いけれど、別の場所に移転してもらう。

以上思いつくまま書きました。
ご参考になれば幸いです。
[redacted]

送信者	[redacted]
受信者	fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp
受信日	2025/05/31 20:15:18
送信日	2025/05/31 20:14:58
件名	**走水小学校跡地利用について**

横須賀市財務部FM推進部　御中

跡地利用のアンケートを提出させて頂きます。
年代　50～59歳
住まい　市外
走水小との関わり　元在校生

跡地利用について

提案したいのは、道の駅です。
関西でテレビでも紹介されていたのですが、千葉県鋸南町の保田小学校や、奈良県吉野郡下市町の事例を観て、参考にして頂けたらと思いました。（企業とコラボも良いかも。無印とか）

遠くに住む者としては、宿泊施設も兼ねて頂けたら嬉しいです。

先日の閉校イベントにも参加させて頂きました。何十年ぶりに訪れて、改めて立地の良さを実感しました。できれば小学校の校舎を残して、跡地利用して頂けると嬉しいです。
ご検討よろしくお願い致します。素敵な施設になることを心より願っています。

送信者	[redacted]
受信者	fpd-fi <fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp>
受信日	2025/06/01 23:59:15
送信日	2025/06/01 23:58:59
件名	**走水小学校跡地利活用意見、提案**

走水小学校が閉校し、校門や御所が先、緑の階段などの走水小学校と書かれていた看板などがごっそり取り外されています。走水小学校がこの場所にあった事を、151年の歴史を、地域や卒業生の思いを消そうとしてるように感じます。
跡地利活用をには、走水小学校がこの地にあった事、走水小学校は走水の歴史の一部であり地域住民の生活の中にあったものであることを踏まえて考えて頂きたい。

1 校舎内に走水小学校、走水、横須賀の歴史を常時展示

2 カフェなどが併設

3 高齢者などが集まれる場所

iPhoneから送信

送信者	[redacted]
受信者	fpd-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp
受信日	2025/06/02 10:13:00
送信日	2025/06/02 10:12:44
件名	**走水小学校跡地の利活用に関する意見・提案**

提出が1日遅れてしまいましたが、下記提案を提出いたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

１）
年代：50代
住まい：走水町内
走水小との関わり：卒業生、卒業生の親

２）走水小学校跡地利用について
漁業の町で海が近い事もあり、海水を取り入れやすいと思うので
稚魚や稚貝の養殖など海産物を育てる施設、もしくは研究施設にしてはいかがでしょうか。

また、野菜の室内栽培設備を作り海産物と共に販売もできる施設を作ってはいかがでしょうか。

走水小学校跡地利用に関する意見と要望書

財務部ＦＭ推進課担当者様

[redacted]

２０２５年５月２０日

走水小学校が２０２５年３月２５日に閉校となり、今後跡地利用に向けた検討が始まると思います。横須賀市では跡地の検討体制をとり、財務部が中心となり学校運営協議会、地域説明会を通じて意見を取りまとめ、その内容を庁内で検討され跡地利用の内容を決めていかれることと存じます。

走水小学校の統合、その後の校名決定、通学安全確保に関しては、学校運営協議会、地域説明会、学校適正配置審議会、教育委員会議最終決定の手順ですすめられました。

小学校の統合と小学校の跡地利用の決め方を、そのまま比較することは安易かもしれませんが、同じことが起きるのではと案じてしまいます。

小学校統合時、小規模特認校認定申請や校名決定などにおいては、まったく、地域住民との合意異形成のないまま決定がなされています。私見ですが、地域協議会では小規模認定校の可能性に対して寄り添う議論がなされ、その後直近の審議会では、審議委員が特認校について教育委員会の担当者に尋ねると、走水は離島ではないので特認校は該当しないと回答しています。協議会の議事録と審議会の議事録のすべてに目を通せばお分かりいただけると思います。

また、馬堀小学校と決められた校名は、教育委員会が自ら決めた５つの視点で校名を考える内容と合致しません。原因はありき内容に目標を定めて、向かおうとする行政がファシリテイター役を担ったからではないでしょうか。

この様なことがあるので、私に限らず走水の住民には行政に関して不信感があると思います。協議会、住民説明会、庁内の議論が整合性あるものであることを切望します。以上の点を強く申し述べて合意形成された跡地利用決定であってほしいと願います。また跡地は走水住民だけでなく近隣の方々のお役に立つ物であり、協議の中で合意がなされる内容であれば咎めるものでは無いと地域の人達は考えていると思います。

さて要望ですが、協議会のメンバーではないのでこの場で要望をお願い申し上げる次第です。

１)、跡地利用の中で、小さな望みですが走水、走水小学校の文化、歴史、走水近郊にある美しい風景写真(美しい走水の風景写真、伝統行事の写真)の展示室を

一教室設けていただきたくお願い申し上げます。一昨年、横須賀市に日本武尊と弟橘媛の伝説と須賀神社例大祭写真集を個人として寄贈し、上地市長にもご了解いただき博物館に所蔵してもらいました。この写真集や以前小学校の運動会をまとめた写真集も提供しましたが、小学校に保管されていましたので、併せて資料室に保管いただければとお願いいたします。文化歴史資料作成に関しては、長年に亙り資料をお集めなされ、小学校の閉校イベントに展示されたK氏がおり、ご協力いただけると考えています。資料室を設けていただきたくお願い申し上げます。

2)、旗山崎公園の頂上から小学校と富士山が眺望される場所が在りますが、大きな木が沢山あり見えません。木の伐採を公園管理課と協力してお願いいたします。公園管理課には連絡済みです。中田氏に渡邉から連絡してあります。

1)、2)とも魅力的な走水を広く紹介し、地域の活性化を図ることにあります。

追記

1・写真に関しては、一部ではありますが添付資料といたします。

2・須賀神社例大祭に関しては、資料郵送後に週刊新潮から掲載了解されて、本年の7月の第一週に掲載される予定でしたが、7月19日、20日に来客が多くなり混雑を招くかもしれず、私として町内に働きかける調整等が間に合わず、2年後を目途に準備することにしました。もし宜しければ横須賀市として跡地利用の成果と合わせ、走水の伝統文化を内外に広く知らせて頂けるように、掲載時に援助いただければ幸いです。

2、スクールバスの走水地区導入に関しては跡地問題と異なりますが、もし導入されれば走水地区へ子育て世代の転居も考えられ、走水地区の活性化につながりますので引き続きご検討お願いいたします。

3、仲間達の希望ですが 跡地の内容にもよりますが バス停名は
走水小学校上のままとして下さるようお願い申し上げます。

この写真は、ほぼ通行できない旗山崎公園を取り巻く斜面下の水際から長靴をはき撮影しました。　この真上の辺りに旗山崎公園の展望台があり房総方面は見えますが西側の富士は見えません。土曜日と日曜日は解放されている場所で走水の名所になり得ます。僅かですので木の伐採をお願い致します。小学校上からも富士は見えますが、学校は見えません。今では土地の人も私が撮影した場所に行きません。

Photographed by Y. Watanabe

落陽・破崎公園・２０２５０４０８

走水水源地公園・２０２５０４０４

感謝を胸に母校と別れ・２０２５０３２９

走水水源地公園・２０２５０４０４

写真集のページです。

走水神社境内社　須賀神社例祭

走水神社本殿には、日本武尊とお妃の弟橘媛命の二柱が祀られています。境内には、別宮（弟橘媛命に殉じた侍女達をお祀りしてある）、稲荷神社、三社「神明社（天照大御神）、須賀神社（須佐之男命が祀られている）、諏訪神社（建御名方神）」などがあります。

走水の夏祭りは、須賀神社のお祭りです。本宮の早朝には、御神輿に須賀神社から須佐之男命の魂入れが宮司様、氏子達によって行われます。その後、御神輿は白装束を纏った禰宜により担ぎ出され、仲之町、上町、伊勢町、南町の青年達が担ぎ、各町内を順に巡幸します。

＊須佐之男命

古事記には神産において、伊邪那岐命が黄泉の国から帰還し筑紫の橘の小戸の阿波岐原で禊を行った際、左目を洗い天照大御神、右目を洗い月読命、次いで鼻をすすいだ時に須佐之男命が生まれたとされています。神の統治領域は文献により異なるようですが、天照大御神は天（高天原）であるが、月読命は天、蒼の海原または夜の食国（よるのおすくに）を、須佐之男命には夜の食国または海原または天下を治めるように命じられたと言われています。須佐之男命は 須賀神社の御祭神です。

＊日本武尊と弟橘媛命

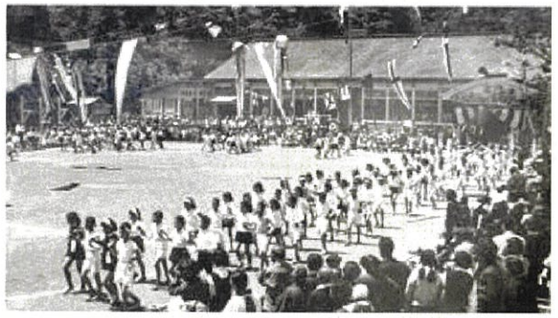
12代景行天皇の皇子である日本武尊は、景行天皇に東国の騒動を鎮めるように命じられました。伊勢神宮を参拝した後、東国遠征の途中で横須賀市走水から上総（千葉県南部）に渡ろうとした時に海が荒れ激しい暴風雨に見舞われました。船が難破しそうになった時、お妃の弟橘媛命が「夫の身代わりとして海に入り神の心を静めましょう」と言って入水し、最愛の妻を失うという犠牲を払い無事に日本武尊は海を渡ることが出来たと伝えられています。須賀神社例祭では御神輿を乗せた船で海上を巡幸し、弟橘媛命が入水した とされる近くで、弟橘媛命の魂鎮めの神事が行われます（宮司様のお話では、海原も治めていた須佐之男命の魂もお鎮めなさっておられるようです）。

＊走水小学校 校歌

わが学びやは　山のふもとの海のそば　清く 明るく 朗らかに
　　清く 明るく 朗らかに
やまとたけると　橘ひめのゆかりの地　強く 優しく 美しく
　　強く 優しく 美しく

・・・・・・・・・・・・・・と歌われています。

浦安の舞（走水神社例大祭より）



昭和30年頃の走水小学校

＊走水神社例大祭

日本武尊と弟橘媛命の二柱が祀られている走水神社のお祭りは、走水神社例大祭として10月に氏子、町内会の役員が参列して行われます。

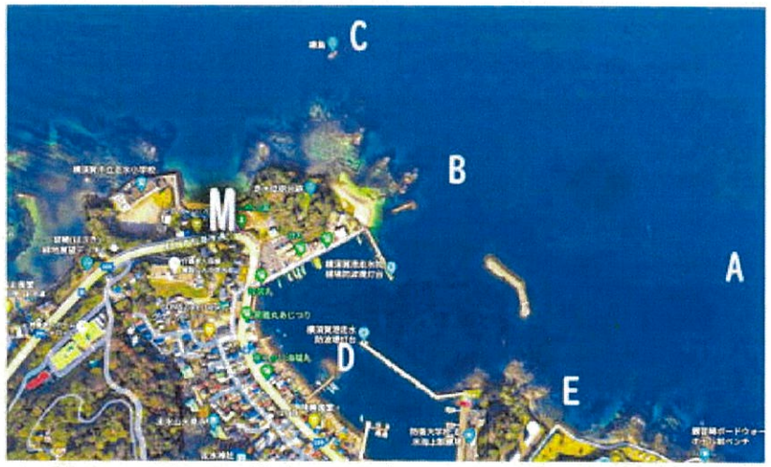
須賀神社例祭永遠（とわ）に

御座船で海上巡幸の途中、航空写真の 印A 付近で玉串を捧げました。海を納める神である須佐之男命の魂を鎮め、航海の安全と豊漁の祈願をし、併行して弟橘媛命の鎮魂の神事も行いました。陸路では、仲之町、上町、伊勢町、南町（立花、防衛大自治区を含む）の青年達が神輿を左右に揺らす特徴ある担ぎ方で各町内を巡幸します。神輿を担いでいる人達や懸命に声援を送っている人達は、きっとその時に、誰にも見えない自分だけの心の歌を聴かれたことでしょう。走水地区に残る、ロマン溢れる伝統ある文化を後世の人達に伝え、守っていきたいと願います。

須賀神社例祭永遠に！

日本武尊の乗船場所と弟橘媛命の入水

日本武尊が上総（千葉県南部）に渡ろうと乗船した場所は、地元の言い伝えを聞き、また資料を調べてみましたが、皇島（すめらぎ）C、御座島D、防衛大学訓練所近くE の3か所ありました。弟橘媛命と女官10人が入水した場所は、むぐりの鼻付近B とされますが、上総に向かう途中の「海の中ほど」と書かれた記述も有りました。弟橘媛命と女官は一緒に入水、別々に入水したなど、諸説ありました。 紀元１１０年１０月の出来事とされています。約１９００年前の出来事と思えば、推測の域を出ないでしょう。



伊勢町　上町 仲之町　南町　立花 防衛大

弟橘媛命・舵の碑
昭和５０年建立

宮内庁掲載許可あり

次ページでは、旗山崎海岸から、むぐりの鼻付近を撮影し当時をイメージしてみました。

皇太后美智子様は、この弟橘媛命の物語を小学校五年生の時にお読みになり感動したと言われ、そして「愛と犠牲が不可分なもの」であることに気づいたと語っておられます。

平成十年『橋を架ける―子供時代の読書の思い出』すえもりブックスより左は、平成三十一年に走水に行幸啓された時の美智子様のお写真です。

大浦玉陽　筆
走水神社所蔵

弟橘媛命の記念碑
明治４３年建立
勲一等昌子内親王書

海上で神事　午後４時

相模で火攻めにあった時に叔母からもらった草薙の剣で難を切り抜ける日本武尊。

上町青年
多数の声援の中でラストの見せ場

乗船　12:43

上町青年　完遂の悦び！　12:43

御座船で上町から伊勢町へ海上巡幸　12:50

海上で伊勢町青年が神輿を受け取る　13:08

伊勢町　お神楽　13:1
後方上段は　弟橘姫

意見等記載用紙　【19】

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

1　ご自身の当てはまるものに〇をしてください	
年　代	18歳以下 ・ 19～29歳 ・ 30～49歳 ・ 50～59歳 ・ (60歳以上)
お住まい	(走水町内) ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	(元在校生) ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない ・ その他（　　　　　　）

2　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】
私は住民は校庭体育館利用していた現在・・・・・選挙投票場所、 住民運動会、避難訓練、ドッヂボール大会、小学校運動会 ほたるの里、（住民が参加で楽しく、子供達の声で助けられる 事があり。子供のありがとうの声が — いつも町内に響いて、高齢者は、 登校の朝と下校に、子供達の安全と、元気を望んでいますが、 バスの登校により、声かけが無くなってしまったとの声が聞こえています。 走水は子供達と一緒に過したいと思います。走水は「走水」の 謙虚で未来はないのですか？走水を守る未来のある「走水」として この先未だ何年であろうか。私は走水の(道)は住民と共に守って いくつもりです。私は大津で「子供レストラン大津」のスタッフです（毎回200名分寄付） 横須賀の子供の為に元走水小学校の校舎の利用をと考えています。 横須賀（登校拒否が千名いると聞いています。走水の環境の良い地域であ

「今もかかえて問題が沢山ありますが、
このままの校舎として利用出来ること。　住民と共もいかに、行政としての、多くの話し合いが必要です。

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

※走水、そして住民の暖かい心のあるこの場所で選んでくれること、沢山小学校と聞いていますが、元走水小学校にここしか出来ない教育を全国にもない教育として考えて頂きたい。（誰もが、楽しく。財政が苦しいので合っています。助けられる人はいますよ）

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

１　ご自身の当てはまるものに○をしてください	
年　代	18歳以下 ・ 19～29歳 ・ 30～49歳 ・ 50～59歳 ・ 60歳以上
お住まい	走水町内 ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	元在校生 ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない ・ その他（町内健民運動会）

２　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

1、私は昭和29年度卒業生。
先月51回卒業式に参加致しました。
私の父がPTA会長の時、毎年行なわれる健民運動会時
運動場が狭く、父は2002年の翔を寄付し運動場を
広くしました。

2、廃校については残念でなりません。
校名についても走馬小と希望しましたが馬堀小になり残念。!!

3、今後の活用については。
・走水の自然環境は財産であり教育と観光の連携をテーマ
に体験学習ができる施設を希望する。
・コミセン分館として学習室や図書室、歴史資料館等希望する。
・学童保育、不登校児童の居場所機能として使いたい。

ご記入ありがとうございました。

＜問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454＞

意見等記載用紙

提出期限：６月１日（日）まで

回収場所に設置の回収箱に投函してください

1　ご自身の当てはまるものに〇をしてください	
年　代	18歳以下 ・ 19～29歳 ・ 30～49歳 ・ 50～59歳 ・ (60歳以上)
お住まい	(走水町内) ・ その他市内 ・ 市　外
走水小との関わり（複数回答可）	(元在校生) ・ 元在校生の家族等 ・ スポーツや文化活動等で利用 選挙投票所で利用 ・ 特にない ・ その他（　　）

2　走水小学校跡地について【利活用のイメージ等をお聞かせください】

70才です。
私の小学生の頃は夏は東京からキャンプに来てました。海の学校として毎年夏は楽しみにしてました。
横須賀の小学生を海の楽しみを教えて授業として小学校を使ってもらえませんか！
又、横須賀の登校拒否が多いと聞きました。この環境のよい走水での楽しみを子ども達に人との暖たかさをと思います。
学びの場所として走水の人との暖かさを感じてほしい場所として走水小学校を子供達のいこいの場所として使ってほしいと思います。

ご記入ありがとうございました。

<問い合わせ　横須賀市財務部ＦＭ推進課　TEL：046-822-8454>